

H17

**2014年2月改訂(第6版)

*2009年6月改訂

貯法: 気密容器、室温保存
〔「取扱い上の注意」の項参照〕

使用期限: 容器、外箱に表示

漢方製剤

本草 五苓散顆粒-R

日本標準商品分類番号

875200

承認番号 (55AM) 第603号

薬価収載 1981年8月

販売開始 1981年8月

◇組成・性状

販売名	本草五苓散顆粒-R	
組成	本品5.0g中(2包中) 日局タクシャ末…0.8g 日局ブクリヨウ末…0.6g 日局ソウジュツ末…0.6g 日局ケイヒ末…0.4g 日局チョレイ末…0.6g を含有する。	
	添加物	乳糖水和物、カルメロースカルシウム、 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡かっ色
	におい	特異なにおい
	味	わずかに甘く、後に苦い
	識別コード	H17

◇効能・効果

のどが渇いて、尿量が少なく、はき気、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症:

水瀉性下痢、急性胃腸炎(しぶり腹のものには使用しないこと)、暑気あたり、頭痛、むくみ

◇用法・用量

通常大人は1日5.0gを1日2回に分けて食前に経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

◇使用上の注意

(1)重要な基本的注意

1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

**(2)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、掻痒等
肝臓	肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)、 <u>γ-GTP等の上昇</u>)

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(3)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(4)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

(5)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

◇取扱い上の注意

本品の品質を保持するため、直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管し、開封後は湿気に注意して、フタを十分に閉める等、取扱いに注意すること。

**◇包装

2.5g×60包

◇文献請求先

本草製薬株式会社 学術部

〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地

TEL 052-892-1287

FAX 052-895-4928

本草製薬株式会社

名古屋市天白区古川町125番地

H17